

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 事業概要

公益社団法人に移行して3年目を迎えた当センターは、営利を目的とせず、公共性・公益性のある団体として、地域におけるボランティアなどの社会参加活動を自主的に展開するとともに、会員の培った経験と能力を十分に活用し、地域社会の活性化等に寄与している。

また、高齢化が進み生産人口が減少していく中で、センターは地域社会を支える重要な役割を担っているが、平成20年度に260名であった会員が、平成26年度には84名も減少して176名となっており、会員数の回復と拡大が深刻な課題となっている。

このため、平成27年度においてはホームページを設置するほか、市報や地元紙を利用してセンターのPRを図るとともに、鳥取県シルバー人材センター連合会主催の講習会終了後に、参加者に対してセンターへの入会を呼びかけるなど、会員数や就業機会の拡大をめざし積極的に取り組んできた結果、平成28年3月末における会員数は183名に回復したところである。

事業実績については、前年度に比べて受注件数は3%増加し、受注額は0.6%の増加となっており、内訳では受注件数が民間で2.4%の増加、公共で50%の増加、受注額が民間で5%の増加、公共では15%減少した。また、派遣事業については、受注件数は前年度より推移し、受注額は2.3%の減少となっている。

2. 事業実施報告

(1) 就業機会の確保と提供

(請負・受託事業)

- ア) 平成26年度末をもって受託を打ち切った市道除草について、境港市建設部と協議した結果、安全就業に配慮した比較的交通量の少ない7路線の除草を受託したほか、境港市給食センターより給食業務で廃棄される可燃ごみの清掃センターへの運搬業務を受託するなど、公共事業の受注確保に努めた。
- イ) 昨年度に引き続き、閑散期である1月末から3月にかけて弓浜干拓地内の水路、道路及び土手の除草業務を米川土地改良区から受託。また、市の教育委員会からはスポーツ広場への芝生の苗植え業務を3月に請け負うなど、就業期間の平準化が図られた。

(シルバー派遣事業)

平成27年9月に労働者派遣法が改正され、原則3年を限度とする派遣可能期間が60歳以上については対象外となったが、派遣先との契約期間が満了前にあって法改正時期の予想がつかないことから、3名の会員が直接雇用となった。

(2) 就業に必要な講習等

受託事業を確保するための知識や技能の習得及び向上を目的に、次の講習を実施した。

講習会名	開催日	受講者数	主催
接遇・マナー講習	10月22日	18人(会員)	県連合
パソコン講習・初級	11月9日～11日	18人(会員・市民)	県連合
パソコン講習・中級	11月17日～20日	20人(会員・市民)	県連合
障子・襖張り講習	2月18日～19日	5人(会員)	当センター

(3) 安全就業対策の推進

安全就業対策については、当センターの理事長、安全・適正事業推進委員会委員長及び事務局職員による安全就業パトロールのほか、連合会の安全・適正就業指導員に同行してのパトロールを実施するなど、会員の意識の向上と事故の未然防止に努めた。

(4) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の普及啓発月間(10月1日～31日)に併せ、農協祭りが開催されたJA渡支所において、役員や事務職員が来場者にリーフレットを配布しながらセンターのPR活動を実施した。また、2月にはセンターのホームページを開設し、センター事業の紹介や会員募集、情報公開等を行ったところであり、市報3月号にも会員募集の記事を掲載するなど、積極的に広報活動を展開した。

(5) 適正就業への取組み

センター利用者の中から無作為に200名を抽出し、アンケート調査を実施した結果95通の回答があり、作業内容については84%が「満足している」との評価を受けたが、49件の意見と8件の苦情があった。この結果を踏まえ、意見等の検証をする中で所要の改善を行い、今後の適正就業につなげていく。

(6) 会員の拡大促進

減少する会員数に歯止めをかけ会員の拡大を促進するため、入会説明を希望する来訪者にはその場で、また、電話での依頼者には希望する日に説明を行うなど、きめ細やかな対応に努めた。

(7) 地域社会への貢献活動

シルバーの基本理念の一つである地域への奉仕活動として、今年度は次のボランティアを実施した。

奉仕内容	実施日	職群班
市役所前庭の除草	7月11日	除草班
市役所前庭の剪定	7月11日	剪定班
福祉施設でのおやつ作りほか	毎月第1、3水曜日	家事班

(8) 高齢者への福祉サービス

一人暮らしの高齢者等がシルバーを利用した場合、年間16時間を限度に利用料の5割を境港市が助成する軽度生活援助事業については、利用件数が前年度比1.4%増加。今後、高齢者への福祉サービスの需要はますます増え、シルバーに対する期待が高まっていくものと予想される。

(9) 会員の健康管理

平成27年度定時総会終了後、「健康は安全就業の礎」と題しての講演を開催。講師の米子広域シルバー人材センターの井元安全・適正就業推進員より、熱中症になりやすい理由や熱中症になった時の処置など就業中における対処方法や定期的に健康診断を受診し、日頃からの健康管理に努めることなど、安全就業に関する講義を受けた。